

ひとよし市議会だより

2017/第91号/平成29年2月15日

発行：熊本県人吉市議会／編集：議会報編集委員会

市の鳥に追加が検討されている ヤマセミ



2匹を同時に捕獲したものの、
2匹とも落として食べず仕舞い。



幼鳥同士でバトルの練習



大きなナマズを捕らえ、奮闘中
飲み込むまでが大変。



ミサゴ(オスプレイ)に劣らぬホバリング
十字懸垂しているよう。

写真提供・解説：古江之人氏

CONTENTS

主な 内容

- P 2 定例会報告
- P 3～6 各委員会報告
- P 7～9 一般質問
- P 10 議案等の議決結果

人吉市議会災害対応指針

を制定しました

(関連記事2ページ)

市のホームページでもご覧になれます。

URL <http://www.city.hitoyoshi.lg.jp> / E-mail gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp

12月定例会報告

平成28年12月第5回定例会が、11月29日から12月20日までの22日間開催され、一般会計の補正予算は、5億5,310万3千円を増額し、補正後の総額は165億4,352万2千円になりました。

《一般会計の主なもの》		《特別会計》	
市庁舎建設事業	3,200万円	国民健康保険事業特別会計	18万9千円増額し 総額53億1,116万4千円
経済対策臨時福祉給付金事業	1億5,099万円	介護保険特別会計	82万8千円増額し 総額43億5,596万3千円
自立支援給付費	5,221万5千円	介護サービス事業特別会計	118万1千円増額し 総額 3,734万9千円
地域経済循環創造事業交付金	4,000万円	水道事業特別会計 収益的支出	87万7千円増額し 総額 5億 894万円
社会資本整備総合交付金事業(橋梁関係)	2,750万2千円	資本的支出	5万円増額し 総額 2億8,816万5千円
道路新設改良事業	1,600万円	公共下水道事業特別会計 収益的支出	31万7千円増額し 総額11億1,213万6千円
中学校施設整備事業	450万円	資本的支出	15万9千円増額し 総額 7億3,473万7千円

《平成27年度歳入歳出決算を認定》

9月定例会で設置した決算特別委員会において、閉会中に4回にわたり審査を行い、11月29日の本会議で賛成多数で認定しました。同特別委員会では、市に対し、今後の財政運営に当たっては、新市庁舎建設に多額の費用が見込まれることから、行財政運営全般にわたる改革を推進し、歳出全般にわたる徹底した見直しによる歳出総額の抑制と重点化を進め、効率的で持続可能な財政運営を行うよう要望しました。

	歳入総額	歳出総額
一般会計	162億2,555万2,125円	154億9,002万3,021円
特別会計(水道・下水道除く)	107億6,212万5,688円	102億1,090万4,605円
合計	269億8,767万7,813円	257億 92万7,626円

《人事案件》

○教育委員会委員に下記の方を任命同意しました。

永田 ミキ氏

「人吉市議会災害対応指針」を制定しました

人吉市議会では、昨年4月に起きた熊本地震を教訓に、大規模災害時における議会対応としての基本方針として「人吉市議会災害対応指針」と、指針に基づく「人吉市議会災害対応連絡会議設置要綱」を制定しました。

指針では『(1) 人吉市災害対策本部が、迅速、かつ円滑に応急活動が実施できるよう、必要な協力、支援を行う。(2) 大規模災害時においても、議決機関としての議会機能の維持に努める。(3) 国、県、関係機関等に適時適切な要望活動を行い、市の復旧・復興の取り組みをバックアップする。(4) 広域的な応援体制が必要と判断したときは、関係自治体の議会と積極的に連携を図る。』の4つの指針を定めて対応していきます。

詳しくは、市のホームページをごらんください。

 [人吉市議会災害対応指針](#)

検索 

総務文教委員会報告

●委員長 西 信八郎 ●副委員長 宮原 将志
●委員 宮崎 保・犬童 利夫・本村 令斗・田中 哲

人吉市部設置条例の一部改正を承認

行政機構の改革により、企画立案、政策形成機能を強化し、総合計画、選挙公約（マニフェスト）を積極的に推進する体制を整えるため、「企画課」及び「秘書課」からなる「企画政策部」を平成29年4月1日付けで新設するものです。また、その他1件の条例改正を承認しました。

一般会計補正予算の総務部関係に5,978万5千円、教育関係に1,009万2千円を計上

主なものは、防犯灯設置工事でLED灯新設及び取替工事合わせて約70件分、人吉市予約型乗り合いタクシー運行補助、平成28年熊本地震に伴う市庁舎等の分散化に伴う庁舎等維持管理経費、記者会見用のバックパネル購入費、今後の災害対策等に向けた先遣地視察研修旅費、避難所備蓄食料購入経費、新市庁舎建設に伴う免震構造のための地質調



第三中学校プール視察

査（ボーリング調査）の経費などです。また、学校関係では、中原小学校体育館の柱の修繕料、小中学校における文化・体育関係の出場経費となる人吉市小中学校教育振興会への補助金、第三中学校プール塗装工事費などです。

「やませみ」を第二の市の鳥として指定を求める陳情を採択

本陳情の趣旨は、JR九州が平成29年から肥薩線に観光列車「かわせみ やませみ」号を運行させることとなり、これを観光活性化につなげる好機と考え、「やませみ」を第二の市の鳥として指定することを求めるものです。執行部から、今後有識者からの意見聴取やパブリックコメントを経て平成29年3月には指定をしたいという説明があり、全会一致で採択しました。

陳情2件を趣旨採択

人吉電気工事業協同組合と人吉市管工事協同組合から提出されておりました新市庁舎建設に伴う工事施工に対する陳情は、地元の業者を利用してほしいというその趣旨に賛同し、2件ともに全会一致で趣旨採択しました。

総務文教委員会行政視察報告

日程：平成28年10月24日（月）～26日（水）

視察先：岐阜県揖斐川町

項目：防災センターを兼ねた庁舎について

内容：揖斐川町庁舎は、高度な耐震性能・防火性能に加え、非常用発電装置を整備し、災害時の指令中枢機能を備えた防災・災害復興の拠点として、平成23年7月に竣工した。防災センター機能として、

- ①防災対策本部室に河川等監視システムが設置され映像をモニターで把握している。
- ②原子力防災ネットワークシステムで関係機関と専用回線で結んでいる。
- ③自主放送である「いびがわチャンネル」の画面や音声告知放送で避難勧告、避難指示等を住民に知らせている。などの特徴がある。

まとめ：住民に情報を確実に届けるためにケーブルテレビは有効である。また、Wi-Fi設備による情報ネットワーク環境の整備が重要であり、本市においても、新市庁舎の防災機能として取り入れるべきものについて十分検討することが必要であると感じました。

視察先：大阪府高槻市

項目：放課後子ども教室について

内容：近年、子どもたちが安全に遊ぶことができる公園等の居場所が減少したり、子どもと地域住民がつながる機会が減少したりしている。このような課題を解消するため、小学校の教室などを活用し、地域や保護者の協力を得て、41小学校のうち31小学校区で実施されている。活動内容は、スポーツ、文化活動、体験活動、学習活動などである。

まとめ：この活動を行うことで、子どもと地域とのつながりが、深く広く密にできているようである。熊本県では平成31年度から小学校部活動を社会体育へ移行することとされており、放課後の子どもの過ごし方を検討する上で非常に参考になりました。

視察先：京都府長岡京市

項目：災害用マンホールトイレについて

内容：避難所となる市内全14小中学校に、平成21年から平成25年までに災害用マンホールトイレを204基設置されている。そのうち小学校を1カ所訪問し、整備状況の視察を行いました。

まとめ：災害時においてはトイレの問題が必ず発生し、マンホールトイレはその有効な対応策です。熊本地震を踏まえ、本市においても設置を検討する必要があると感じました。

厚生委員会報告

●委員長 三倉 美千子 ●副委員長 塩見 寿子
●委員 高瀬 堅一・井上 光浩・村上 恵一・仲村 勝治

老人福祉センターの利用がお得になります

◎団体割引（10人以上）の導入

浴室と他の施設を一緒に利用する場合
一人当たり200円→160円

◎回数券の導入

11枚つづり1,500円 23枚つづり3,000円
37枚つづり4,500円 ※通常入浴料150円

いずれも市内にお住まいの方が利用する場合で、平成29年4月1日から新料金体系となります。

平成25年度に行った大規模改修後、料金改定による値上げや、休館による利用者離れからか、改修前と比較すると利用者は激減し、現在も減少傾向が続いていました。各団体からの要望もあり、その打開策として今回の料金改定となりました。

委員会審査においても、この料金改定による利用者増に期待する意見が出されました。

交通災害共済制度の取り次ぎ終了へ

本市においても、昭和43年から全労済の交通災害共

済の取り次ぎを行ってきました。しかし、社会情勢の変化や多種多様な民間保険制度が展開されているなか、全労済熊本県本部からの申し入れにより検討した結果、平成29年3月をもって市としての取り次ぎを終了することになります。これに伴う条例の廃止を認めました。

ポイント これまでの交通災害共済制度がなくなるわけではありません。今後は、全労済が契約者に対して直接、更新案内・手続きなどを行うこととなります。

水道・下水道決算の2件を認定

9月議会で継続審査としていた平成27年度の水道事業と公共下水道事業の特別会計利益の処分及び決算の認定についての2件の案件は、閉会中の10月に3日間にわたって慎重に審査した結果、賛成多数により可決認定することにしました。

この2件の案件は、12月議会の開会日に審査の報告を行い、採決の結果、いずれも賛成多数により可決認定されました。

厚生委員会行政視察報告

日程：平成28年11月15日（火）～17日（木）

視察先：三重県いなべ市

項目：介護予防・日常生活支援総合事業について

内容：いなべ市の介護認定率は、平成23年をピークに横ばいから減少傾向を示しています。特に力を入れておられるのが介護予防で、国のモデル事業などを活用した成果を、市の実情に沿って無駄にならない形で総合事業に移行されています。

まとめ：通所と訪問による予防サービスを卒業した後は、通いの場で状態を維持してもらい、その運営をも活動的な高齢者が行うシステムには、やはり核となるリーダーの養成が重要であると感じました。29年4月に一部移行する本市においても、結果が出るシステムづくりが重要であると考えます。

視察先：岡山県総社市

項目：ごみ減量化事業について

内容：市民と協働でごみ減量化の推進をされ、ごみの量をもとに市指定ごみ袋の販売額を決める「ごみ袋変動相場制」の導入、雑紙の資源化推進、粗大ごみの有料回収などの取り組みを行い、また啓発活

動にも力を入れられています。

まとめ：どこの自治体もごみ減量化対策は行われていますが、本市が特に遅れているわけではありません。心に響き意識が変わることでの減量化や、生活用品交換銀行、雑紙のごみ袋交換といったアイデアによる取り組みが、本市でも取り入れられないか検討していきます。

視察先：兵庫県明石市

項目：災害に強い水道づくりについて

内容：平成7年の阪神・淡路大震災により、市内約70%の地域で断水を経験。この教訓をもとに、各種計画に連携させながら機能強化を施策として掲げ、施設や対応体制の整備を図られています。

まとめ：有事の際に対応する職員の負担軽減のためにも、全国平均より進んでいない基幹管路の耐震化などを進め、指定避難所へは飲料水兼用耐震貯水槽の設置が必要であると痛感しました。今後、国の事業を活用した整備を進め、将来にわたった水の安定供給が必要不可欠と考えます。

経済建設委員会報告

●委員長 平田 清吉 ●副委員長 福屋 法晴
●委員 大塚 則男・豊永 貞夫・笹山 欣悟・永山 芳宏

人吉市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例案を承認

内容は、国の「農業委員会等に関する法律」等が改正されたことに伴い、人吉市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定めるため、既存の条例を廃止し、新たに条例を制定するものです。

新たな条例の内容は、従前、農業委員会の「任意業務」としていた担い手への農地利用の集積と集約化、遊休農地の発生防止と解消、新規参入の促進等を「必須業務」とします。

また、農業委員の選任方法として、従前は選挙制にて定数14人、選任制にて定数6人、合計20人を選出していたものを、公選制を廃止して、市長が議会の同意を得て任命する市長の任命制に一本化され、定数は10人です。

さらに、担当区域（5地区）における農地等利用の最適化を推進するための現場活動を行う「農地利用最適化推進委員」を新設し、定数15人を募集して農業委員会が委嘱します。なお、両委員の月額報酬は、同額の2万5,000円の基本給と、能率給（活動実績払

いと成果実績払い）の2段階給になりますが、支給にあたっては地区によって不公平感が出ないように考慮することです。

2件の損害賠償案件を承認

内容は、公用車が駐車場で後退中、駐車していた相手方車両の左前部と接触した案件、及び市道舗装割れ目突出部分に相手方車両タイヤが接触しパンクした案件です。委員会では、市道のパトロールを強化し、市道の整備不良による事故防止に努めるよう要望しました。

その他承認した主な事業予算

- 熊本地震に際する小規模事業指導事業費
- 村山公園展望台耐震改修工事請負費
- 人吉市農業活性化対策事業費
- 人吉・球磨スマートインターチェンジ整備事業関連道路工事請負費
- 新市庁舎建設に伴う市道青井西間線測量設計委託料

経済建設委員会行政視察報告

日程：平成28年11月8日（火）～10日（木）

視察先：岡山県真庭市

項目：公共建築物へのCLT活用について

内容：真庭市は、人口約4万7,000人、面積は県下で最も広く約828km²、面積の8割は森林で占められている農林業が盛んな自治体です。ヒノキの生産量は4年連続で日本一を誇り、現在でも素材生産事業者約20社、原木市場が3カ所、製材所は約30社、木材製品市場も1社があり、平成26年度にはCLT材を使用した日本初の市営住宅を建設し、その市営住宅で得られた実証実験データを公表しています。

まとめ：本市の新市庁舎をはじめとする公共建築物において、視察研修したCLT材や人吉・球磨産の木材を使用した木の香りと温かみを感じられる建築物ができないか、検討する上で非常に参考になる研修でした。

※CLT(Cross Laminated Timber)とは、直行集成板とも呼ばれ、強度・断熱・耐火・遮音性に優れ、施工が速く、軽いことが特徴の新しい木質構造用材料のこと。

視察先：香川県善通寺市

項目

① 観光振興について（日本遺産・四国八十八カ所

巡りの活用について）

② 農業後継者の育成について

内容：善通寺市は、人口約3万3,000人、面積39.93km²、中心部には、陸上自衛隊駐屯地、国立医療センター、大学などの公共機関等が多く立地しています。また、弘法大師や智証大師ご生誕の地であり、四国八十八カ所霊場第72番から第76番までの5つの四国霊場札所も点在し、多くのお遍路さんや観光客が訪れています。また、農家数・後継者数が減少する中、早くから市独自の新規就農者育成に取り組み、平成28年3月、第3次農業・農村基本計画を策定し、農業塾「ゆめ酪農支援塾」など新規就農者支援にも取り組み、弘法大師にちなんで名づけられた「ダイシモチ麦」、キウイフルーツ、四角スイカなどの生産を奨励しています。

まとめ：善通寺市は、古くから四国八十八カ所霊場札所が点在し、お遍路さんの宿坊まちとしても栄え、あえて観光客に対する「おもてなし」の育成は、必要としない土地柄であり、数多くの公共機関も存在し、財政も豊かであり、農業に対する支援も独自に行われ、人と財政の豊かさを感じた研修でした。

市庁舎建設に関する特別委員会報告

●委員長 永山 芳宏 ●副委員長 高瀬 堅一
●委員 塩見 寿子・犬童 利夫・西 信八郎・笹山 欣悟・村上 恵一・三倉 美千子・仲村 勝治

新市庁舎配置計画案について

今後基本設計を進めていく中で、全体敷地の配置計画を決定する必要があると、水道局・保健センター・弓道場の配置計画案について、執行部から説明を受けました。水道局については、本庁舎との距離が遠いと市民サービス面でマイナス面が多いので、新市庁舎に配置する。また保健センターについては、同じフロアに配置すると面積が超過してしまい、乳幼児・保護者・高齢者等利用される方の安全面を確保する点からしても、西間別館を有効活用する案が委託業者からも技術提案されている。保健センター独自の施設整備等が必要であり、別館の大規模な改修事業も必要となる。このような理由から、保健センターは新市庁舎には配置せず、西間別館を含めたところで選択肢を検討していく。また弓道場については、建設後10年程度しか経っておらず、移転建設となれば2億円程度の費用がかかり、もったいない等の意見もある。地元町内からは、安全面の観点から

移設してほしいという意見もあるが、移転先の候補地として挙がっていたスポーツパレス駐車場は、大規模災害時の指定避難所、物資のバックヤード（集積場）、仮設住宅の建設場所として必要になる。総合的に判断して、弓道場の安全対策を施した上で、現在地に残すことにしたい等の説明がありました。以上の配置計画案について、全員異議なく、承認いたしました。

免震構造を採用することを承認

執行部から、耐震・免震・制震構造の特徴を比較検討した結果、免震構造は、大地震後も構造体の補修を行うことなく建物が使用でき、人命の安全確保に加えて地震等の災害発生時に復旧・復興活動を迅速に行える機能を確保できる。耐震構造に比べて、免震構造は6%ぐらい建築物の事業費が上がるが、業務継続性や安全性等を加味しても、免震構造を採用したいとの説明があり、全員異議なく承認いたしました。

治水・防災に関する特別委員会報告

●委員長 福屋 法晴 ●副委員長 宮崎 保
●委員 宮原 将志・大塚 則男・平田 清吉・井上 光浩・豊永 貞夫・本村 令斗・田中 哲

鶴田ダム、川内川流域の引堤・輪中堤などを視察

前号で実施予定としていた川内川流域における災害対策の視察を、去る11月21日に実施いたしました。平成18年7月鹿児島県北部豪雨により、これまでにない甚大な洪水被害（流域全体で浸水面積2,777ha、浸水家屋数2,347戸）を受けた川内川流域では、さまざまな被害軽減対策が講じられています。

まず、鶴田ダムでは、洪水による被害を軽減するため、平成19年から洪水調節容量を7,500万 m^3 から1.3倍の9,800万 m^3 に増やす再開発事業に着手されています。また、市街部の引堤による川幅の拡幅、輪中堤や景観を損なわない曾木の滝分水路などの対策が行われています。後日行った視察のまとめでは、球磨川水系における対策として、今後どのように生かしていくかが最大の検討課題であるといった意見がありました。

人吉市総合防災マップ配布へ

第8回の特別委員会を平成28年11月30日に開催し、3項目について審議を行いました。視察のまとめでは、前段で述べた意見などが出されたところです。

人吉市業務継続計画策定については、大規模な災害の発生によって、応急・復旧対策業務に加え、災害時も優先的に実施すべき通常業務をあらかじめ特定し、業務の継続と早期復旧を講じるための計画です。発災後すぐにも業務に着手しなければならない業務を優先度の基準で定めるもので、計画内容が固まったということで報告を受けました。

人吉市総合防災マップについては、当初の計画より遅れましたが、2月から全戸配布されるということです。地域の意見を取り入れ、防災対策、非常時持出品などを掲載し、以前の防災マップをより充実させたB4サイズの冊子版となっています。病院、旅館、銀行など人が集まる施設にも配布される予定です。

梢山多目的グラウンド の整備は



大塚 則男

問 今回改修される梢山多目的グラウンド整備は、今後、人工芝の新設をぜひ考えていただき、さらに、さまざまな大会を行う場合、現在も駐車場の確保が課題であることから、あわせて駐車場の整備もお願いできないか。

答 市民の声として人工芝への改修を期待されているため、初期投資費用やメンテナンス等を調査し、整備方法については、市民の皆様との対話の中でよりよい方法を検討したい。また、駐車場の整備については、梢山多目的グラウンドだけでなく、全体的に対応していく必要がある。

※その他、高齢者対策として、介護保険の現状、要支援・要介護の現状、訪問介護員の雇用環境などについて質問を行いました。

市営住宅の浴室に 浴槽・ボイラーを



塩見 寿子

問 市営住宅に入居するとき、風呂の取り付けに20万円、撤去に1万2千円かかる。お金がない人はどうすればよいのか。市営住宅だから風呂がなくても我慢すべきとは思えない。市で浴槽・ボイラーを設置できないか。

答 低廉な家賃であるということ、市営住宅に入居される方々に浴槽・ボイラーの設置費用を御負担いただくことは心苦しく申し訳ないが、厳しい財政事情のもとでは新たな経費捻出は難しい。他の自治体では、入居者の有償譲渡を行っているところもある。その方法等も含めて浴槽・ボイラーの設置については調査・研究したい。

※その他、廃屋対策、地震の防災対策について質問しました。

避難場所としての 多目的運動広場建設は



福屋 法晴

問 多目的運動広場の建設に向けた協議は。また、災害時の避難場所として必要ではないか。

答 多目的運動広場の必要性、重要性は十分認識しているが、協議・意見は伺っていない。

問 第一市民運動広場でグラウンドゴルフ大会開催時に、隣接する竹やぶを駐車場にできないか。

答 熊本県の所有なので、熊本県に駐車場として利用できるようにお願いをしていきたい。

問 防災行政無線放送に対するスクリーン対策は。

答 屋外拡声子局の調整や、電話応答サービスを行っている。

※その他、中神地内第2号線の安全対策、各町内会の自主防災組織について、専門知識を持った防災士の育成について質問しました。

庁舎西間別館の来庁者 への対応について



笹山 欣悟

問 旧本庁舎においても、年度末・年度初めの窓口業務は、非常に混雑していた。現在の窓口は非常に狭いので、来庁される方々への対応が大変になると予想されるが、対策は何か考えているのか。

答 過去2年の住民票の転出・転入の世帯処理件数を参考にすると、年度末・年度初めには平時の3倍強の来庁者が見えなくなるようになる。このままでは繁忙期には待合状況、執務環境、防災面での悪化が懸念されるので、繁忙期に限るということではなく、できるだけ早い時期に、新庁舎が完成するここ3年間を見据えた対策を講じる必要がある。限られた中でも最大の努力で知恵を出し合い検討したい。



災害時のトイレ対策 について



宮原 将志

問 災害時のトイレ問題は重大な課題となる。避難所にマンホールトイレを整備する考えは。

答 実用的な効果が高い方法として、マンホールトイレの整備を検討している。財源等の課題を解決し、早急に取り組みたい。

問 小学校における英語教育を推進していく上で、ALTの増員、英語教育コーディネーターを配置する考えは。

答 ALTの効果は大きく増員も視野に入れている。また、ALTへの指導助言を行う人材の確保も必要であると考えている。

問 悪質な給食費滞納者への法的な対応を取る考えはあるのか。

答 法的な対応も考えている。手続きの方法や経費などについて、具体的に検討を進めたい。

水道料値上げ避けるべき



本村 令斗

問 老朽化した施設も、つくりかえるのではなく補強や補修を行い、水道料値上げは避けるべき。

答 料金については、水道事業運営審議会に諮問されている。できるだけ延命化を図りながらも、老朽化施設から更新したい。

問 大地震で避難所となる小中学校の体育館や校舎について、非構造部材の改修、窓ガラスや壁の耐震化、スロープの設置、トイレの洋式化を進めるべき。

答 計画的に進めたい。

問 観光客がくま川鉄道に乗りたと思うよう、鉄道ミュージアムに常設の展示を設けるべき。

答 ミニ企画展を計画しており、第2弾、第3弾と継続し、くま川鉄道関連の資料も展示できるように検討したい。

公共交通の課題は



宮崎 保

問 利用しやすい交通体系とは。

答 交通弱者である高齢者の生活移動手段である公共交通の利便性の向上が、鍵となってくる。

問 特にドアツードアは、自宅で乗り降りできるが、決まった時刻に乗り降りできないというデメリットもあるのでは、考慮が必要。

答 今後の公共交通の考えは。

問 市民生活を守る重要な基盤で、医療・福祉・教育・経済など市のあらゆる事業と結びつき、公共交通の維持と活性化こそが、地域全体の活性化につながる総合施策であると認識している。地域実情に沿った持続可能な利便性の高い交通ネットワーク構築のため、市民・交通事業者・行政が担い、強い意識と興味を持って進めていくことが必要。

市庁舎建設・教育委員会・ 行政機構改革



平田 清吉

問 公募型プロポーザル方式で山下設計を選定した経緯は。

答 一次審査では、事業者及び配置技術者の能力等について評価、参加表明の5者を二次審査対象者とし、二次審査では、新市庁舎移転基本構想を掲げた業務の理解度、各課題の整理検討、実現性等への視点に立ち審査した。

問 教育委員会の役割は。

答 教育機関の設置、管理、廃止、教育機関の用に供する財産の管理、学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導等19項目に関する委員会会議等での意見陳述、付議すべき案件の議決。

※ その他、行政機構改革で、部長級職員1名が増となり、一般財源で約63万円の管理職手当が必要になるため、慎重な組織改革を要望。

住警器・AEDの維持管理等について



犬童 利夫

問 住宅用火災警報器の設置義務化から10年経過し、機器の劣化など適切な維持管理について。

答 警報器の故障や電池切れなどにより、火災を感知しなくなるのが心配されることから、消防・消防団と連携しながら、啓発とその対応の周知に努める。また市営団地は、3年計画で機器の取りかえを予定している。

答 市内小中学校へは、各2台を設置している。1台は保健室等に設置し、1台は全学校の体育館に設置している。バッテリー等の消耗品については、学校施設点検とあわせて点検している。

小中学校における防災教育について



西 信八郎

問 小中学校における防災教育はどうなっているのか。

答 学校においては、風水害、地震、火災、不審者対応などの避難訓練を、年間に3回から4回実施している。自分の命を守るために必要な知識と行動について学ぶ。最も大切なのは、有事に自分で考え、進んで行動する力を養うことであり、そのためには、日常生活の中で「こうなったらどうするか?」という次の行動をシミュレーションする習慣を身につけることが重要ではないかと考える。

※防災教育、防災ボランティア教育の充実を強く要望しました。その他、人・農地プランの進捗状況、TOS S熊本、父子家庭支援、市道人吉矢岳線について質問しました。

高齢者支援について



豊永 貞夫

問 本市の高齢化率の推移と、65歳以上の一人暮らしの生活保護受給者の現状と、昨年度から始まった生活困窮者自立支援制度の取り組みや課題、今後の高齢者支援についての考えは。

答 平成24年に高齢化率30%を超え、本年は33・75%へ増加している。生活保護受給者も増加し、生活困窮者自立支援制度への相談件数も増加傾向で、支援制度への相談にいられていない方への対応が課題としてある。問題解決には関係機関や地域の方々と連携強化が必要で、今後さらに取り組んでいく。

※その他、市民の声より正午と午後6時に放送される音楽と、プラネタリウムのプログラムを季節に応じた新規変更の要望をしました。

コミュニティFMと防災行政無線の連携



村上 恵一

問 阪神淡路大震災や東日本大震災、そして熊本地震で活躍した、地域限定型放送局であるコミュニティFM放送局の開局を模索してみているのか。防災行政無線が聞こえにくい場合は、その内容を補うことができるし、さまざまな行政情報を伝えることやイベントなどにも活用できる。

答 防災行政無線の欠点を補い、市民に対し、よりきめ細かい情報をお届けできる手段として、また災害時は高齢者や車中泊の方にも情報をお届けできるなど、最も身近な情報提供手段として大変有効なものと考えている。今後は、経営基盤の確保、運営主体となる人材の確保などさまざまな課題を、十分検討させていただきたい。

平成28年12月定例会の議案等の議決結果

■全会一致で可決・任命同意した議案

番号	件名	番号	件名
議第91号	平成28年度 人吉市一般会計補正予算(第5号)	議第105号	人吉市部設置条例の一部を改正する条例の制定について
議第92号	平成28年度 人吉市一般会計補正予算(第6号)	議第106号	人吉市職員の退職手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第93号	平成28年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	議第107号	人吉市交通災害共済条例を廃止する条例の制定について
議第94号	平成28年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	議第108号	人吉市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第95号	平成28年度 人吉市介護保険特別会計補正予算(第3号)	議第109号	人吉市税条例の一部を改正する条例の制定について
議第96号	平成28年度 人吉市介護保険特別会計補正予算(第4号)	議第110号	人吉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
議第97号	平成28年度 人吉市介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	議第111号	人吉市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第98号	平成28年度 人吉市介護サービス事業特別会計補正予算(第3号)	議第112号	人吉市老人福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について
議第99号	平成28年度 人吉市水道事業特別会計補正予算(第3号)	議第114号	損害の賠償について
議第100号	平成28年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	議第115号	損害の賠償について
議第101号	平成28年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	議第116号	損害の賠償について
議第102号	人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議第117号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
議第103号	人吉市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議第118号	平成28年度 人吉市一般会計補正予算(第7号)
議第104号	人吉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議第119号	平成28年度 人吉市一般会計補正予算(第8号)

■請願・陳情等

付託委員会	件名	議決結果
総務文教委員会	人吉西小学校開校130～140周年記念事業に伴う急傾斜崖崩れ防止工事施工の陳情	継続審査
総務文教委員会	『ヤマセミ』を第二の市の鳥として指定を求める陳情	採 択
総務文教委員会	人吉市が計画されている新庁舎建設における電気設備工事の発注を求める陳情	趣旨採択
総務文教委員会	人吉市で計画されている新庁舎建設の機械設備工事(給排水設備、空調設備等)を人吉市管工事協同組合の組合員へ発注(単独、JV等)を求める陳情	趣旨採択

■賛否の分かれた議案

(○：賛成 ●：反対
除斥：自己等の一身上に関する事件のため地方自治法第117条の規定により議事に参与することができない。)

議案番号	件名	塩見 寿子	宮原 将志	高瀬 堅一	大塚 則男	宮崎 保	平田 清吉	犬童 利夫	井上 光浩	豊永 貞夫	西 信八郎	本村 令斗	笹山 欣悟	福屋 法晴	村上 恵一	永山 芳宏	三倉美千子	仲村 勝治	田中 哲	
80号	平成27年度人吉市水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	議長職のため表決には参加しない
81号	平成27年度人吉市公共下水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	
90号	平成27年度人吉市歳入歳出決算認定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	
113号	人吉市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	
陳第6号	人吉市が計画されている新庁舎建設における電気設備工事の発注を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	○	
意見第6号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書	棄権	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

編集後記

新しい「西」年を迎えられ、いかがお過ごしでしょうか。
先日の議会報告会・意見交換会には、市民の皆様にご参加いただきありがとうございます。
さて、今回の表紙は昨年12月議会で「ヤマセミ」を第2の市の鳥として指定を求める陳情を採択しましたので、ヤマセミのいろいろな表情を掲載してみました。写真の提供は、日本野鳥の会熊本県支部会員の古江之人氏です。人吉市はヤマセミを街の中で見られる全国でも大変珍しい街で、全国から撮影に來られます。私も今回撮影に挑戦しましたが、残念ながら出会うことができませんでした。

「西」年の1年、市民の皆様がヤマセミとあえる日が来るかもしれませんね。自然豊かな人吉で、私達議員も議会活動に頑張っています。

文責：仲村勝治

次の定例会は
3月の予定です

【議会報編集委員会】 委員長／田中 哲 副委員長／仲村 勝治
委員／塩見 寿子・宮原 将志・平田 清吉・本村 令斗・福屋 法晴・三倉 美千子